

日本看護歴史学会 会報

日本看護歴史学会
第8号
1990年8月1日

看護歴史学の確立をめざして

高橋 みや子

いよいよ第四回大会も間近になってまいりました。

昨年、保助看法指定規則の改正があり、本年四月より施行されました。看護歴史の扱いが変わり、看護学概論の中の看護の変遷、小児看護概論の中の小児看護の変遷と理念、母性看護概論の中の母性看護の変遷となっています。何時間とるか？、または選択必須科目に独立科目として看護歴史学を立てるのか？、学技や教員の姿勢が問われるところで、波紋をなげかけております。

ところで、日本の看護界が手本としている米国ではどのような状況なのか？先頃、来日したアラバマ大学看護学部のリンダ・オリベットの講演「看護哲学と看護教

育学」の一部を紹介したいと思います。

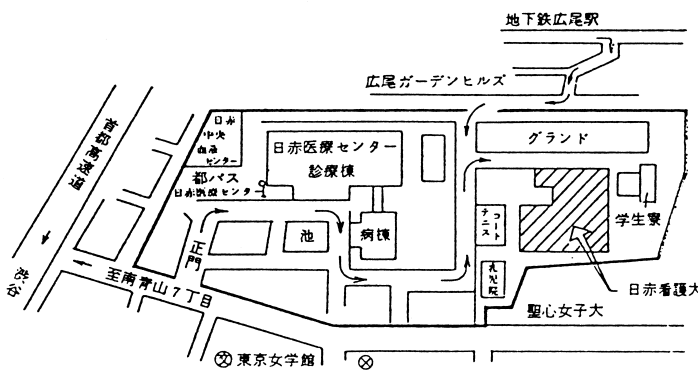
看護教育は大別するとコンペティンス、ケアリングとコミットメントの三つの領域から成り、看護にコミットメントすることは重要です。コミットメントすると看護は単なる職業ではなく、一生、情熱をもって行なうライフワークとなります。看護史は、学生が看護にコミットメントする契機となります。折にふれて、教育の場でも実践の場でも、看護史と看護界のリーダー達について語ることは重要な意味を持ちます。と看護史の意義を強調しました。看護歴史を考える一つの視点を示し、示唆されます。

確か、第二次世界大戦後、一九

四六年看護教育模範学院では、看護史及看護倫理（15時間）をGHQのミス・マチソンが担当しました。一九四九年の保助看法指定規則（文・厚令一）では30時間となり、その後一九五一年の改正で20時間となりました。さらに、一九六七年の大きな改正の際、独立科目ではなく、看護概論（60時間）の内に含まれ、備考に看護史を含むと記載されました。

本来ならば、混沌状態の現代こそ、歴史認識が必要とされるころなのですが、一九八九年の改正では、遂に備考からも削除され冒

〈日本赤十字看護大学 案内図〉



- JR 渋谷駅より都バス(学03) 日本赤十字社医療センター行 終点下車
- JR 恵比寿駅より都バス(学06) 日本赤十字社医療センター行 終点下車
- 地下鉄広尾駅六本木寄り口下車 徒歩10分

頭に述べた状況になったのです。この背景には、看護歴史、看護哲学・思想は不用であるとの発想と同時に、看護歴史学が未確立なことや、研究者・教員が決定的に不足し、教科目が機能しなかったという事情もありそうです。

当面、看護歴史研究を活発にし、看護歴史学の確立をめざさなければなりません。今年、講演「歴史研究の基礎および十年以上看護歴史研究に取組んでこられた諸先輩によるシンポジウム「歴史的研究の実践」を企画しました。分科会もあらかじめ内容を紹介しました。相互に刺激し合い、学び合い、新しい研究領域に挑戦して行きましょう。看護歴史研究を知るために、多くの方々の参加を期待しております。

日本看護歴史学会 第四回大会開催日程

会期 8月18日(土) 8月19日(日)
会場 日本赤十字看護大学

第一日 8月18日(土)

12時 開場

12時30分 受付開始

13時 開会

13時15分～14時45分 記念講演

「歴史研究の基礎」

東京大学教授 寺崎 昌男氏

司会 藤村 龍子

15時～16時 会員による研究報告

司会 加藤 光宝

1 官制・心得等からみた近代看護
管理者の名称、地位、定員、職
務の変遷について

鶴沢陽子氏・鶴岡藤子氏

2 保健婦教育の開始から保・助・
看令公布までの保健婦教育の実
態

笠井ナミ子氏

3 我国における近代政治の変遷と
看護改革とのかわり

田中幸子氏

16時～17時 総会

18時～20時 懇親会(417番教室)

(事務局・会計報告、一九九〇年
度活動方針、同予算審議、他)

司会 高橋みや子

司会 小玉香津子

依田 和美

第二日 8月19日(日)

9時30分～12時30分 分科会

(担当 渡部 尚子
高橋みや子)

12時30分～13時30分 休憩

13時30分～14時 分科会の報告

14時15分～16時15分 シンポジウム

「歴史的研究の実践」

司会 渡部 尚子

ナイチンゲール研究所 小南 吉彦氏

元日本赤十字看護大学図書館 吉川 龍子氏

看護史研究会 坂本 玄子氏

16時20分 閉会

第四回大会に参加される方は、
次の事項に御留意下さい。

- (1) 会員証を必ず持参して下さい。
ネームプレートになります。
- (2) 大会参加費 三〇〇〇円
懇親会会費 三〇〇〇円
2日目の昼食 一〇〇〇円
(事前注文者に限る)
- (3) 参加希望の分科会名、懇親会
出席の有無などはハガキで8
月16日(木)までに大会事務局へ
お知らせ下さい。

〒280
千葉市亥鼻一―八一―
千葉大学看護学部
日本看護歴史学会
大会事務局 宛

- 第四回大会参加申込書
1. 会員番号
 2. 氏名
 3. 希望する分科会名
 4. 懇親会出席の有無
 5. 二日目昼食希望の有無
 6. 大会事務局への要望

分科会

現在、話題提供者が決定してい
る分科会は次の通りです。会場は、
第一日目に掲示します。

1 文学・映像にみる看護
「『讃岐典侍日記』における看
護」
高田節子氏

讃岐典侍日記は、死病にとりつ
かれた堀河天皇の看護記録と回想
記より成立している。作者であり、
看護者である藤原長子の看護する
姿勢を学びとりたい。

讃岐典侍日記を手軽に読みたい
方は、森本元子著「讃岐典侍日記」
(講談社)の文庫本がある。

2 看護教育史
「十年の看護史授業実践をかえ
りみて」
山崎雅代氏

現代っ子たちに歴史への興味を
おこさせ、看護の諸問題を認識さ
せるための授業展開とはどのよう
なものか、参加者の御意見をうか
がいながら、ともに考えて行きた
い。

- ① 御自分の講義の中での工夫な
どの資料(歴史以外でも可)
- ② 現代っ子たちの印象に残る授
業とは―アンケート調査や感
想文などによるもの―
- ③ 国内・海外を問わず、歴史上
の出来事より感ずる事など。

